

# 別なき社会へ

入試不正が問うもの



【第1回】

## 得点改ざんで絶望的な差

医学部入試における女性差別対策弁護団 弁護士 櫻町直樹

医学部入試不正問題は性別によって教育が歪められていた事実を明らかにし、社会に衝撃を与えた。医学部入試不正問題の実態と、女性差別のない社会に向けて何が求められるのか、医学部入試における女性差別対策弁護団にリレー解説してもらおう。(全5回)

## 医学部入試における「女性差別」の発覚

2018年7月、文部科学省が所管する「私立大学研究フロンディング事業」への便宜を図ることの見返りに、子息を東京医科大学に合格させるという利益供与を受けたとして、同省局長が受託収賄罪で逮捕されるという事件がありました。

この事件をきっかけに、学校法人東京医科大学が入学試験の実施状況について内部調査を実施したところ、女子受験生の合格者数を抑制することを目的に、2次試験で課される小論文について性別・現浪別という

## 不正入試の責任を問う

2019年3月22日、33人の元受験生が原告となり、受験に際して支出した入学検定料、交通費、宿泊費、及び慰謝料について賠償を求める訴訟を提起しました(その後、4次にわたって訴訟提起がなされ、最終的な原告数は40人となりました。また、学校法人東京医科大学と同様、入学試験における女性差別が発覚した学校法人順天堂及び

学校法人聖マリアンナ医科大学に対しても損害賠償請求訴訟が提起されており、筆者は弁護団の一員として関わっています。東京医科大学が行ってきた「属性に基づく得点の改ざん」(以下、「属性調整」)は、具体的に、2次試験で課される「小論文の点数(満点100点)に、全員0.8の係数をかけた」上で、現役から2浪まで

の男子受験生には20点を加点し、3浪の男子受験生には10点を加点、4浪男子及び(現役浪人を問わず)女子受験生には加点しない、というものでした(2018年度一般入試の場合)。学校法人東京医科大学内部調査委員会「調査報告書」(2018年8月6日)22頁。

例えば、現役男子受験生が2次試験小論文で80点であった場合、属性調整によってその得点は64点にダウンします。実際の得点は同じであったにもかかわらず、属性調整によって実質的に「20点」もの差がついてしまうのです。1点を争う入学試験において、20点という得点差は「絶望的な差」といえるでしょう。

## 公正・公平な入学試験に向けて

女子受験生合格者の抑制を目的とした差別的取り扱いについて、これが発覚した当時、女性医師が増えることによって医療現場が回らなくなる、周囲(特に男性医師)の負担が重くなる等の理由から、いわば「必要悪」としてこれを理解・容認する意見がみられたところでした(PR TIMES 2018年8月8日付「医師の65・0%が東京医科大学の女子一律減点に『理解できる』」など)。

しかしながら、仮に女性医師が増えることで医療現場が回らなくなるとして、その改善は医療現場における対策によって図られるべきであり、医療現場の状況に何の責任も権限もない受験生を不利益に取り扱うことを正当化するものではありません。また、海外各国と女性医師比率を比較してみると、日本は20・4%ですが、OECD加盟国の(単純)平均は44・8%になっています(厚生労働省「女性医師キャリア支援モデル普及推進事業に関する評価会議」配布資料「女性医師キャリア支援モデル普及推進事業の成果と今後の取組について」(4頁))。

意欲・能力のある受験生が、差別的取り扱いによって医師への道を不当に閉ざされることのないよう、今後も公正・公平な入学試験が実施されることを願ってやみません。(つづく)

おおさか医科・歯科九条の会

## 憲法9条の重要性を解説



おおさか医科・歯科九条の会

「維新がなぜ大きな勢力になったのか考えないといけない」とメディアの在り方を問いかけた。維新が教育や医療、福祉の予算を次々と削減していることを指摘し、「周回遅れの新しい自由主義」と強く批判した。

また、ウクライナ戦争以降、侵攻されれば戦争はやむを得ないとの考えが広がっている状況に、金平氏は「憲法9条の戦争をやってはいけないという精神が問われている」と強調し、「私たちができることを考える必要がある」と訴えた。

金平氏は元大阪府知事の橋下徹氏を例に、「テレビに露出すると権力を持ってしまう」とメディア

## 労基法の法改正を解説



経税部

12月24日、医科・歯科経税部は「医院経営と雇用管理2022年版」を監修した桂好志郎氏(協会社労士団・写真)による講習会を開催した。

桂氏は年5日の年次有給休暇の確保を、労働時間の適正な把握、パワハラ防止措置を中心とした。講習会を締め括った。



お申し込みは右のQRコードから協会行事予定の「お申込み」へ

## 協会行事案内

【会員限定】  
2022年度改定を踏まえた歯科医療のこれからを考える  
日時 2月11日(土・祝) 13時~15時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 田辺隆氏(全国保険医団体連合会副会長)  
会費 無料 定員 80人

2月度生涯研修  
「基礎」と「臨床」がにつながる歯周解剖  
—歯周病専門医が語る、自からウロコ、のペリオ&インプラント—  
日時 2月12日(日) 10時~13時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 牧草一人氏(牧草歯科医院院長)  
会費 3千円、未入会者1万円 定員 80人

市民公開映画上映会  
わが青春つきるとも伊藤千代子の生涯  
日時 2月23日(木・祝) 10時~12時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
会費 無料 定員 80人

医科・歯科経税部共催  
確定申告直前学習会  
日時 2月23日(木・祝) 10時30分~12時30分  
会場 保険医会館5階  
講師 山本佐代子氏(協会税理士団)  
会費 無料 定員 30人

近畿反核医師懇談会主催・市民公開講演会  
沖縄と核の恐怖と隣り合わせの島で  
日時 2月23日(木・祝) 15時~17時  
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)  
講師 松岡哲平氏(NHK広島放送局ディレクター)  
会費 無料 定員 60人

【会員限定】  
施設基準研修会  
歯初診の施設基準に係る研修会  
▷2月18日(土) 18:00~18:30  
▷3月25日(土) 18:30~19:00  
会場 M&Dホール  
講師 社保研究部講師団  
会費 1千円  
定員 各80人  
持ち物 『絵で見る色でわかる歯科の院内感染防止対策』  
※遅刻・早退時は修了証を発行できません

無料相談  
法律 2月6日(月) 14時~16時  
税務 2月15日(水) 14時~17時  
雇用 2月16日(木) 14時~16時  
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。